

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	脊椎側弯症患者におけるSpectrum Shaping 技術を用いたCT検査の被ばく線量低減の有効性に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2016年4月から2022年3月までの間に、新潟大学医歯学総合病院において脊椎CT検査を受けられた方、もしくは、される方のうち40歳以下の方。
③概要	<p>脊柱側弯症は、さまざまな原因で背骨が曲ってしまう病気であり、その中でも成長期である小学校高学年から中学校時代に多く発症します。小児期は放射線感受性が高く、発がんリスクが増加するとの報告があり、そのため放射線検査ではさまざまな被ばく低減技術の活用が重要となります。</p> <p>CT検査の新しい被ばく低減技術、Spectrum shaping 技術は大幅に線量を低減することが可能ですが、側弯症患者の線量評価を行った文献はなく、線量評価を行うことは重要です。</p> <p>本研究では、側弯症患者におけるCT撮影時にSpectrum Shaping 技術を用いた撮影の線量と画質を調査することを目的とします。</p>
④申請番号	2019-0139
⑤研究の目的・意義	当院で施行された側弯症を対象とした脊椎CTの線量の実態を調査し、Spectrum Shaping 技術の有効性を証明すること
⑥研究期間	承認日から2023年3月まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	新潟大学医歯学総合病院の画像サーバに保存されている脊椎CTおよび、線量管理システムに保存されている線量データを利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	CT画像データ、CT線量データ、年齢、身長、体重、性別
⑨利用の範囲	新潟大学医歯学総合病院
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 放射線部門 副診療放射線技師長 能登 義幸
⑪お問い合わせ先	新潟大学医歯学総合病院 診療支援部 放射線部門 副診療放射線技師長 能登 義幸 Tel. 025-227-2709（放射線部受付）